

異常高温緊急情報(第1号)

令和6年8月8日
新潟県農林水産部

8月12日から、34℃以上の高温が予想されています。

高温障害から水稲を守るため、一時的に湛水し稲体の急激な蒸散防止に努めましょう。

気象状況と生育見込み

- 新潟地方気象台が8月7日11時に発表した「新潟県の天気予報(7日先まで)」では、12日から最高気温は32~37℃、最低気温は25~30℃と高温が予報されています。
- 新之助は出穂期となっており、最も水を必要とする時期です。
- こしいぶき、コシヒカリは、高温による白未熟粒が発生しやすい時期です。
- 特に7月30日~8月4日出穂したコシヒカリは、高温に対する感受性が最も高く品質が低下しやすい時期です。

当面の管理対策

- 土壌が乾いた状態で異常高温に遭遇すると品質が大きく低下します。高温障害による被害を軽減するため、一時的に浅く湛水して稲体の急激な蒸散防止に努めましょう。異常高温後は長期間の湛水は避け、飽水管理へ移行しましょう。
- 用水の供給状況に配慮して、地域全体に用水が行き渡るよう、こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めるなど用水を大切に利用してください。
- 熱中症の発生リスクが高いため、暑い時間の作業を避け、こまめに水分を補給し、休憩時間を十分に確保するなど、いつも以上に熱中症予防と健康管理に十分注意してください。

限りある農業用水を、大切に利用してください。